



neovient
SDGs
Report2024
(初版)

目次

1. トップメッセージ
2. 会社概要
3. 何故SDGsなのか
4. SDGs宣言
5. 地域ブランド創造事業SDGsビジョン
6. 施設運営事業SDGsビジョン
7. お客様への約束
8. パートナーへの約束
9. 今年度の取り組み
10. 2030年ビジョン



トップメッセージ

ネオビエントは、「笑顔と夢を繋げる」事業で地域課題を解決する

ネオビエントは「徳島の魅力をもっと多くの人たちに発信していきたい」という想いをもち、施設運営、観光、イベントの事業を誠心誠意、全力で取り組んでまいりました。

現在の世相を見るに、様々な社会問題が待ったなしの状況です。全世界でもSDGsという共通目標をもって、持続可能な社会の実現に取り組んでいます。ネオビエントは、SDGsの各目標の背後にある社会課題を地域課題にまで掘り下げて、私たちの事業を通じてどのように問題を解決できるのか考えました。このレポートには、わが社の各事業のリーダーを中心にそれぞれの技術やサービス、アイデアでどのように地域課題を解決するかを具体的にまとめています。

私たちの小さな取り組みが、少しでも地域の課題解決につながり、次世代の笑顔と夢を繋げ、持続可能な地域社会の実現に貢献したいと思います。

株式会社ネオビエント 藍原理津子

会社概要

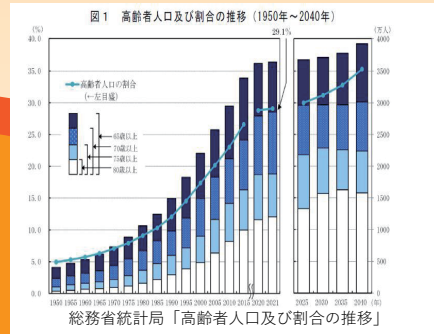
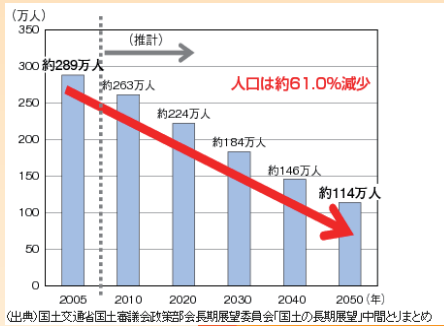
社名	株式会社ネオビエント
所在地	徳島県板野郡北島町太郎八須字西ノ瀬 34 番地 8
連絡先	TEL 088-698-7788 FAX 088-698-7821
URL	https://neovient.co.jp/
創業	平成 17 年 6 月 2 日
資本金	1 千万円
年商	10 億円（令和 5 年度実績）
事業	1. 施設運営事業（公共施設等の指定管理及び受託事業） 2. 地域ブランド創造事業 3. イベント事業
拠点数	本社他県内に 7 拠点
社員数	124 名（2024/1/1 時点 男性 53 名 女性 71 名） ※役員除く
社員状況	正社員 58 名（男性 34 名 女性 24 名） 準社員（週 5 日勤務） 28 名（男性 11 名 女性 17 名） パート社員（週 4 日以下） 38 名（男性 8 名 女性 30 名）
男女の役職者比率	執行役員 男性 5 名 女性 1 名 課長以上 男性 7 名 女性 0 名 係長以上 男性 6 名 女性 4 名 主任 男性 8 名 女性 5 名



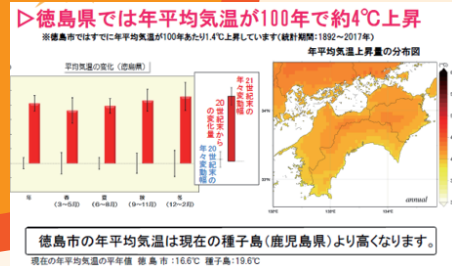
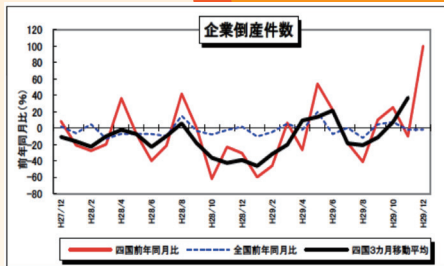
私達は公共施設管理運営、イベント事業等を通じて、地域の新しい情報発信機関として、豊かな地域環境の創造を目指して活動しています。

何故 SDGs なのか

「徳島から元気な未来を創るために」



地方を取り巻く環境



地方の現状はまさに危機的状況

地域・企業の衰退

世界規模の課題とは SDGs の 17 の目標になっている「貧困」「ジェンダー不平等」「地域間不平等」「気候変動」「過度な消費行動」などです。近代以降人類は工業化と成長、そして利益第一の「人類が成長できるのであれば他の要因がどうなってもいい」というスタンスにより、それまでの時代とは比べ物にならないほどのスピードで発展を遂げてきました。結果、驚異的な速度での発展は人類に多大なる恩恵をもたらしましたが、環境への負荷や人間への悪影響も少しずつ出てきました。驚異的な速度での発展によって発生した人類の課題は、世界共通の目標なしに各国、企業、個人が振り舞い続けると改善に近づかないばかりか解決からどんどん遠ざかります。これ以上悪化すると人間の生活をさらに危険にさらして、みんなが幸せに暮らせる世界からは離れていきます。

何故 SDGs なのか



『ハチドリのはとしずく』

ある森が燃えていました。

森に住む動物たちは我先に逃げていきました。

でもある一羽のハチドリだけは行ったり来たり。

くちばしで水のはとしずくを一滴ずつ運んでは火の上に落としていきます。

動物たちがそれを見て「そんなことをしていったい何になるんだ」といって笑います。この質問にハチドリはこう答えました。

『私は、私にできることをしているだけ』

ネオビエントは今まで徳島で育ち、成長してきました。

私たち一人一人の力は微力でも、みんなが力を合わせ、精一杯やってきた結果、文化・観光施設の運営やイベント等を通じて、徳島を元気にしてきました。

徳島の日本の地域課題の解決に向けて一歩ずつ、「やれることを実践」しながら、『地域になくてはならない、お役立ち企業』に成長していきましょう。



SDGs 宣言



地域課題を解決し、 笑顔をつくり続ける企業になる

株式会社ネオビエントは SDGs 先進県「徳島」で生まれた企業として、地域社会に新しい風を吹き込み、課題を解決し続けることで地域の元気な未来を創造していきます。

重点ターゲット



地方自治体や協力企業・団体との連携を深め、全国に先駆けた大型イベントや文化事業が開催される先進県へ。



誰もが働くことを喜び、暮らすことを誇りに思える魅力ある地域づくりへ。



「地方の子どもたちの可能性を最大限に引き出す」ことを目的とし、企業・団体や大学との連携、アクティブシニアを中心とした大人達の知恵や技術が伝わるための様々な工夫を図り、科学、文化、芸能、技術等『生きる力』を育てる場を創る。



地域ブランド創造事業

地方に埋もれる「コトやモノ」を結び地方課題を解決するサービスを提供する

観光誘客・地域活性・教育など、地域の課題に合わせたコンテンツ制作・分析を行います。

イベント企画・運営事業

「学び×遊び」をテーマに、自社製作の大型遊具と教育を組み合わせた体験型イベントの企画・運営。学芸員・教員資格を持ったスタッフが、教育の専門性を生かし、遊びの中で自由な発想が生まれる仕掛けを作ります。

[受注実績] イオンモール徳島、イトーヨーカドー明石、ショッピングモールメルカ他



とくしまマルシェ運営事業

徳島市街地の川沿いに約 80 本の白いパラソルが軒を連ねる県最大級の産直市。事務局が選び抜いた出店者が地元・徳島愛に溢れるこだわりの品を販売します。

[来場者数] 約 8,000 人/回 [出店者数] 約 70 店舗/回

自治体等受託事業

民間のノウハウを生かした地域課題解決の提案を行い、多くの優れたノウハウや技術、コンテンツで徳島を元気にします。

[受託実績]

- ・徳島プレミアム生活衛生クーポン（徳島県）
- ・GoToEat キャンペーン事業（農林水産省）
- ・徳島県子どもの未来応援コーディネーター養成研修（徳島県）他



本社 行政ビジネス部

SDGs ビジョン

8 働きがいも
経済成長も



11 住み続けられる
まちづくりを



行政と連携を深め、徳島を全国に先駆けた
大型イベントや文化事業が開催される
先進県に！

地域課題の取組み

●課題

徳島に暮らすことに魅力を感じている人が少ない。

- ・徳島が全国に先駆けて実施する大型イベントや文化事業が少ない
- ・大型イベントの多くは県内事業者で完結していない
- ・徳島の魅力が十分に発信されていない

●解決策

- ①徳島が全国に先駆けてイベントや文化事業が実施される県になる
- ②事業実施に際して徳島だけで完結する、徳島県内が潤う環境をつくる

●行動

経済発展と環境保護の両立を求めて、国立鳴門公園を起点としたチームワークで取り組む

●解決策

- ・新しい事業（スポーツやレジャーなど）へ挑戦し行政との連携を深める
- ・とくしまマルシェなど徳島の魅力ある事業をより発信・発展させる
- ・イベントの量と質を高める（これまでの経験からより効率的な運用の構築とノウハウ共有・個々の吸収）
- ・個々の経験値を高め、一人ひとりが行政と民間の橋渡し役になれるよう、業務対応力・提案力を高め、幅広い業務に対応、提案できる

SDGs ビジョン

8 働きがいも
経済成長も



笑顔を集める「四方よし」のイベントで、地域の豊かで活力溢れる未来を育みます。

地域課題の取組み

●課題

徳島県では、人口減少率に比例して労働力人口が減少していること、赤字法人率も全国ワースト、失業率や相対的貧困率も全国上位。反して「Uターンしたい人が多い県」の調査では帰県に意欲的な回答が多いが、働き場所や給与面などで帰県できずに人口流出に歯止めがかかっていない状況。

●解決策

① やりがいのある楽しい企画を仕事に！

自社イベント事業の魅力と、徳島県外にも「徳島にも面白い会社がある」ことを対外的に発信。

② 売り手（自社）だけでなく、買い手（顧客）にも満足を！

集客イベントで人を集め、施設や会場の売上増加。イベントに係る無駄なコストを削減し、顧客にも安価に提供。

③ 働きがいの向上で作り手（社員）にも充実を！

仕事と生活が両立できる協力体制を整え、各自のモチベーションの向上に取り組む。

④ 地域経済の発展に寄与することで「世間」もよし！

①～③に取り組み、持続的なイベント実施で、人が集まり、自発的なコミュニケーションが生まれる場をつくる。

●行動

① 新たな営業手法の検討と営業ツールの見直しと改善

② イベント備品の棚卸や廃材の再活用、顧客の御用聞きを行いワンストップサービスを提供し、イベントコストの削減

③ 各自のスケジュールだけでなく、顧客や関係業者の情報も含めた共有ツールの検討と導入

④ 自社主催の企画の検討と実施

8 働きがいも
経済成長も



仕事を楽しみ、暮らしを楽しめる会社へ 働きがいある会社で若者の活躍の場を創出

地域課題の取組み

●課題

若者世代の県外流出による労働人口減少

令和2年徳島県の人口は719,559人で、平成27年の国勢調査に比べ36,174人の減(4.8%減)。そのうち令和2年における20～29歳の県外への転出者数は5,362人、平成27年の5,255人と比較すると107人(2.0%増)。若者世代の県外転出が進んでいる。

[参考：国勢調査人口等基本集計]

●解決策

ここで働きたいと思われる会社へ

労働生産性とやりがいをアップし、「働きがい」のある会社へ

①労働生産性をアップ

業務の効率化、働きやすい環境づくり、各業務バックアップなどの仕組み作りをスタートさせる。

②やりがいをアップ

仕事に対するやる気やモチベーションがアップする環境などの整備。

●行動

- ・ICTの導入、デジタル化
- ・事務分担の見直し
- ・社員同士の円滑なコミュニケーションづくり
- ・快適な労働環境の整備（整理整頓、労働時間など）



施設運営事業

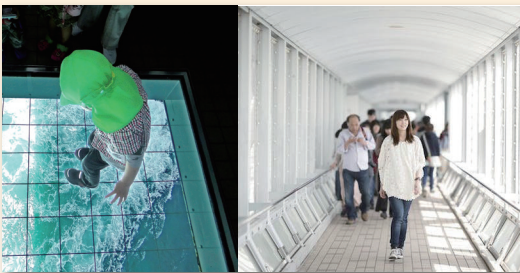
徳島の魅力を発信する新しい風になる

設備管理から施設内のイベント企画・運営まで、施設全体をプロデュースし、来場者の声を反映させた細やかな対応・運営力で、来場者増員の実績を挙げています。



『徳島県立 あすたむらんど』（徳島県板野郡板野町）

子ども達が遊びや体験を通して、科学する心を育てる体験型の複合大型公園。「子ども科学館」では、4Kプロジェクターを使ったプラネタリウムを投映している。また12月には公園一帯をイルミネーションで飾り、毎年来園者から好評を博している。 [年間利用者数：約45万人（令和元年度実績）]



『徳島県立 渦の道』（徳島県鳴門市）

「渦の道」は鳴門海峡に架かる大鳴門橋の橋桁内（車道下）に造られた海上遊歩道。ガラス床から45m下の鳴門海峡の激しい潮流を眺める事ができる。

[年間利用者数：約55万人（令和元年度実績）]

『大鳴門橋架橋記念館エディ』（徳島県鳴門市）

「大鳴門橋」と「鳴門の渦潮」を展示テーマにしたミュージアム。「360°4Kシアター awa」や体験型デジタルアトラクション「Play the Eddy」などが人気。屋上には360°の眺望が楽しめる展望スペースがある。 [年間利用者数：約8万人（令和元年度実績）]



『川口ダム自然エネルギーミュージアム』（徳島県那賀郡那賀町）

自然エネルギーをテーマとした体験型ミュージアム。「team★Lab」のデジタルアート「お絵かきスマートタウン」の常設展示の他、人工知能ロボットによるガイドなどを体験できる。

[年間利用者数：約1万5千人（令和元年度実績）]

『四国大学交流プラザ』（徳島県徳島市）

四国大学の理念である「地域と共にある大学」を基に教員・学生と徳島県民・徳島市民との地域交流の拠点として開設された施設。オープンカレッジや学術講演など多彩な行事を実施。

『鳴門駅前観光案内所』（徳島県鳴門市）

観光・公共交通機関・渦潮の見頃時間など鳴門エリアを効率的に周遊するアドバイスや宿泊施設・鳴門ならではの旬のアクティビティなどの案内を行っている。

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



徳島の魅力はまだまだある！

地域課題解決イベントで徳島を元気にする科学館

地域課題の取組み

●課題：若者の県外流出

転出者総数 51,977 人のうち、20 歳・30 歳代が 31,622 人で約 61%の加速傾向にある。

●解決策

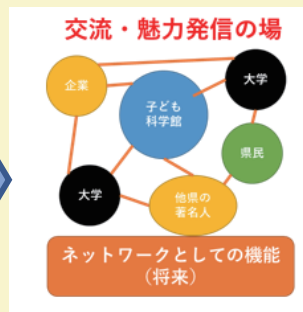
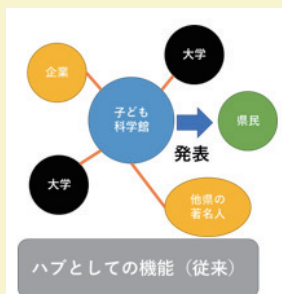
- ① 県内大学の講演会や研究室を紹介し地元大学の魅力を発信
- ② 地元企業の技術や商品を展示し、地元企業の魅力を発信

●課題：地域防災

南海大震災が 30 年以内に、70%～80%の確率で発生する予測に防災が足りていない。

●解決策

- ① 防災センターと連携して、防災サイエンスショーの開催
- ② 小中学校と連携して、減災教室を開催



SDGs ビジョン

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



誰もが集い、つながる「ふれあい公園」へ！
地域の一員である私たちが、ふれあい公園を活かして
地域課題解決へアプローチ！

地域課題の取組み

●課題：若者の県外流出

地域（徳島県）は、若者の県外流出が顕著であり、魅力度が低迷している。

●解決策

①徳島県の魅力 UP・地域の活性化

首都圏や都会でしか経験できないことや、公園で体験したことが、子どもたちの将来の夢に繋がるような取り組みを実施。

②次の世代とつながる（古来有数の文化芸能を未来へ継続）

質の高い本物の文化芸術に触れ、『未来の徳島の礎』となる人々が育つ事業を展開する。

③みんなに優しい施設づくり “20 年前 “施設からの脱却

施設の老朽化と共に、現在の時代にはふさわしくない内容のものがある。お客様に対して、日常の隣にあるような、誰にとっても親しみやすく、心から楽しめる存在となる。

●行動

- ① 地域では体感・体験できない企画の立案と実施
- ② 文化芸術事業の実施
- ③ 施設のバリアフリー化（外国人・障がい者）

SDGs ビジョン

8 働きがいも
経済成長も



働きがいのある環境づくり、共に成長できる会社へ
楽しみながら仕事ができる職場環境を目指して
『仲間』と共に一歩一歩着実にすすんでいく

地域課題の取組み

●課題：社会性のある事業を支える部署として、業務の基本的な事や理念・方針も浸透しにくい体制が続いている。

●解決策

①職場環境の整備

業務効率化のためデジタル化を推進する。職場内の整理整頓を、個々が意識して行えるしくみをつくる。

②社員の働きがいの向上

個々が職務上の業務負担を軽減でき、助け合える体制をつくる。
『目の前のできる事から先頭にたって行動を起こす』

●行動

- ① 業務分享の作成
- ② 業務のルールを作成
- ③ 倉庫の整理整頓
- ④ ネットワーク上の管理ルール化

8 働きがいも
経済成長も



ディーセント・ワークと経済成長の実現

地域課題の取組み

●課題

世界各国から観光客が訪れる観光地で、誇りを持って働くには何を実行するか。

●解決策

- ①世界遺産登録を目指し、唯一無二の観光資源の素晴らしさを伝承していく使命感を持つ。
- ②その職務にふさわしい働き方の基準をつくる。

●課題

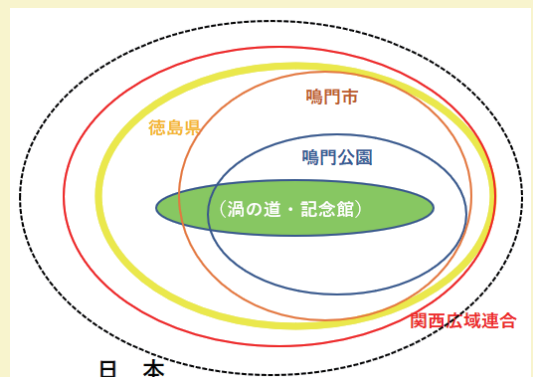
経済発展と環境保護の両立を求めて、国立鳴門公園を起点としたチームワークで取り組む。

●解決策

- ①鳴門公園、鳴門市、徳島県等と連携し、観光産業を活性化する。
- ②地域一帯が潤う仕組み作りを常にブラッシュアップする。

フレームワークは形成されているが、連携活動が形骸化されている。

⇒色の重なり = 「経済活動の多様性」により経済波及効果が生まれる





お客様へのお約束

ネオビエントでは、SDG s 宣言及び各部のSDG s ビジョンを通じてお客様へ以下のお約束をさせていただきます。

1. 子ども達の科学の興味が掻き立てる企業のリーディングカンパニーになります。

- ・全国の科学館での運営を通じて、子ども達の科学への興味が掻き立て、科学立国「日本」の復興を担う人材を育てます。
- ・全国の集客施設における体験型の科学イベントを通じて、子ども達の創造力やチャレンジする力を育てます。

2. 「徳島」が誇りに思える地域を創ります。

- ・過去にない、徳島独自の大型イベントを企画提案運営し、誰もが「徳島で良かった」と思える地域を創ります。
- ・公共施設の運営を通じて、徳島の伝統芸能・文化・自然・技術・食を紹介し、県民の郷土愛を育みます。

科学普及活動

体験イベント等を通じて、科学に関する知識や理解を広く身につけるための活動を行っています。



科学イベント

SDG s イベント

SDG s の視点を取入れSDG s をテーマにしたイベント等を企画し啓発・普及活動を行っています。



移動農園



徳島の魅力発信

風土や文化など地域独自の魅力を発掘・企画し、魅力を伝えています。



パートナー様へのお約束

ネオビエントでは、SDG s 宣言及び各部の SDG s ビジョンを通じてパートナー様へ以下のお約束をさせていただきます。

1. ダイバーシティな人材を結集し新たな価値創造に挑戦

お客様や協力業者・団体様が当事者の観点からこれまで気づきにくかった魅力や存在価値を多様な人材が多角的に分析します。分析結果を受け、新たな付加価値をもたらす、収益を向上できるようなアイデアを提案し事業をサポートします。

地方自治体や大学、企業等との様々なネットワークを活かした新たなイベントや事業を実施し、各業界のトレンドや顧客ニーズをいち早く捉えた今までにない、新たな感動や価値観を創造し続けます。

2. グローカル人材による『徳島』と世界を繋げる観光産業

世界遺産登録に向けて機運が高まる鳴門海峡や大阪・関西万博、大鳴門橋自転車道開通等の機運を活かし、鳴門海峡の渦潮等の自然コンテンツを中心に鳴門市から徳島県内各地へ観光客をリレーションしていきます。

鳴門公園を観光地としてブランディングし、観光を軸とする収益モデルエリアを構築します。世界各国に向けて日本が誇る「おもてなし」文化を広められるよう観光産業を活性化します。

3. 世代間を超えた繋がりが生きがいをもたらすコミュニティづくり

アクティブシニアが活躍できる場でシニア層の人々が経験や知識を活かしたボランティア活動をとおして、若年者や子どもを含む若い家族との世代間を超えて繋がるコミュニティを創造します。

相互協力のもと、誰しものが誰かのために活躍でき、自分の夢を実現できるコミュニティをつくり出すことにより、生きがいを持って生きられる社会をサポートします。また、持続可能なコミュニティであり続けられるよう絶えず変化をし続けます。





今年度の取組み

● SDGs 研修の実施



自社の SDGs に関する取組み事例の紹介と他社での取組みに関する情報共有や意見交換を行った。



SDGs やエコアクション 21 に関する研修を行い、エコ活動の紹介、電気使用量の削減とコピー用紙の使用量削減の取組み等について知識の共有を図った。

● SDGs イベントの開催（一部抜粋）



とくしまマルシェにて「昼ランチマット」「ウッドランタン」などの SDGs ワークショップを実施し、啓発活動に務めた。



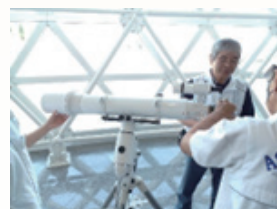
鳴門公園にて国立公園ならではの樹木等の観察をしながら、ネイチャーゲームを行った。



鳴門市、鳴門ウチノ海総合公園を育てる会主催のイベントにて「SDGs を学ぼう」をテーマに企画・提案し実施した。ステージや体験コンテンツを通して SDGs の啓発活動を実施。



女子中高生の理系進路選択支援プログラムを実施し、地元企業や大学と連携し、地元での進学や就職を促す取り組みを行った。



アクティブシニアが持つ経験や学んだことを生かし、講師として活躍できる場（有償ボランティア制度）を設けた。



2030年ビジョン



私たちは『笑顔づくり』事業を通じて 誰もが思いを実現できる世界を創る

人々の価値観が多様化し、人生の選択肢が増える中で、誰もがそれぞれの思いを実現できる世界をつくりたい。

●徳島の情報交流拠点

ネオビエントは徳島県民を軸として、徳島県を訪れる人、徳島県に携わる人全てが笑顔になれる企業として、人と人とを笑顔で繋げていく事業内容を展開していきます。

●ダイバーシティの充実

多様な人材が働きやすく、それぞれが活躍できる職場を目指し、SDGsビジョンを通じ社会的に認知されることで、優秀な人材の確保につなげます。

●教育の充実

社内教育を充実させ、幅広い知識や技能を身につけ、自己実現のための選択肢を増やせる教育を実施します。

●支援の充実

就労支援や医療支援、子育て支援など自分らしい人生を実現させるための環境を整えます。